

喜界町

図書館だより

8月号



【通算 第242号】
2016(平成28)年8月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの
プレゼント!

(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。
★受け取りは0歳児のみ。 図書館にて随時受付。

====「たなばたおはなし会」盛況に終わる====

先日、7月2日(土)に「たなばたおはなし会」が開催されました。当日は、179名の来館者があり、おはなし会には50余名の幼児・児童・親子が参加しました。おはなし会では、ボランティアグループころころの会のみなさんと職員による「リズム体操」「たなばたのおはなし」「たなばたクイズ」等で楽しみました。また、プレゼントとして、職員手作りの「たなばた豆絵本」や飾り付けのあるきれいな短冊をもらい、その短冊に各人のお願いごとを手作りの笹の葉に飾りました。最後は、劇場版「それいけアンパンマン」のアニメ映画を観てたのしみでした。参加した子どもたちからは「おもしろかった。楽しかった。もっと聞きたかった。観たかった。」などの声がありました。

*《土俗を物語る島の民謡》

喜界島には、昔から唄い続けられている民謡があります。その中から「シミチハマナガシ(汐道 長浜):しみちながはま」節の物語を紹介しします。(7月号からの続き)



(たなばたのおはなし)



(リズム体操)



(たなばたクイズ)

頃は薩藩支配の下にあった出来事で、喜界島東間切り、長嶺村のある農家に一寸足りない頭の持ち主の一人の男が居た。名は、「盛里：もりさと」という人である。いつも馬に乗って遠方まで夜遊びに出かける無軌道(むきどう：非常識なこと)ぶりは世間の笑い草になっていたという。当時、塩道村の、とある家に、年頃の美しい娘が一人ささやかな暮らしを営んでいた。所が、半人前の成熟もしていない盛里は、彼女が好きで好きでたまらない。雨の夜も、風の日も、霜の朝も通い続けては、人のいない隙をみて、自分の思い憧れている心を訴え、結婚を迫り、時には、無理に望みを叶えようとする態度まで取ろうとするのであったが、彼女「けさ松」は、おろかな男のたわごとと、言葉巧みにあしらひ、取り合おうとしなかった。いつもは、多くの男女の友だちが、唄よ、三味線よ、とはしゃぐので、それほどまでに思いつめた盛里も、けさ松の脇に座って、身をもじもじさせてはいるけれども、手を触れることさえ出来なかった。多くの若い人々は、盛里をからかって、けさ松と相愛のように囁きたてて笑っていたが、彼は、その仲間の笑いを真にうけて、いよいよ愛人氣取りで有頂天になっていたのである。(続く)

【参考資料】：『喜界島古今物語』(三井喜禎 著)『広辞苑』(岩波書店) (文責：登山 典壽)

お知らせ

返却期限は、
守りましょう!

2016年度

上半期 ベストセラー 「日販調べ」

第155回 芥川賞・直木賞

芥川賞 「コンビニ人間」(「文学界」6月号)(著)村田沙那香

直木賞 「海の見える理髪店」(集英社)(著)萩原 浩

映画

『ヒックとドラゴン』

8月14日(日)
1日3回上映します(無料)

10:30~、13:00~、15:00

場所:喜界図書館2階

★好きな時間に観に来てね!

8月14日(日)

10:00~16:30

対象 小学生ならだれでも

場所 喜界町図書館

1

天才

(著)石原慎太郎

2

おやすみ、ロジャー魔法のぐっすり絵本

(著)カール=ヨハン・エリー

3

羊と鋼の森

(著)宮下奈都

4

君の臓腑を食べたい

(著)佳野よる

5

火花

(著)又吉直樹

6

嫌われる勇氣 自己啓発の源流
「アドラー」の教え

(著)岸見一郎・古賀史健

7

置かれた場所で咲きなさい

(著)渡辺和子

8

正義の法

(著)大川隆法

9

超一流の雑談力

(著)安田正

10

つくおき 週末まとめて作り置きレシピ

(著)nozomi

